

■ ジョルテ for Biz サービス利用規約

この「サービス利用規約」(以下、「本規約」という)は、株式会社ジョルテ(以下、「当社」という)が、提供する法人向けサービス(以下、「本サービス」という)の提供条件を定めるものです。

なお、本規約に同意いただくことによって、サービスをご利用いただくことができます。本規約および諸規定の変更の効力が生じた後に本サービスの利用を継続する場合には、変更後の本規約および諸規定の全ての内容に同意したものとみなされます。

第1条 サービス内容の保証および変更

当社は本サービスの内容について、ソフトウェアの完全性、確実性、動作必要条件を満たす場合でも、利用者の使用環境において動作することを保証しておりません。また当社は、利用者にあらかじめ通知することなく本規約を随時変更できるものとし、本サービスの内容や仕様の変更、提供の停止、中止することができるものとします。ただし、利用者に大きな影響を与える場合には、あらかじめ合理的な事前告知期間を設けるものとします。

第2条 サービスの利用資格

申込者は本サービスを利用するにあたり、ジョルテアカウント(以下、「アカウント」という)に登録されます。

アカウントの申込みいただいた内容を当社にて確認後、申込者が入力した電子メールアドレス(利用者自身の管理に属する使用可能なものに限り)宛に完了通知を当社より送信します。アカウントの申込者が当該通知を受信した時点で、アカウントへの申込みが完了し、申込者は利用者となるものとします。当社に登録いただいた申込者の情報は、法令及び当社のプライバシーポリシーに従って厳重に管理いたします。登録情報に不備があったことにより申込者または利用者が不利益を被った場合であっても、当社はその責任を負うものではありません。

次の事項に該当するとみなされた場合、本サービスの利用資格はないものとします。ただし当社は、利用者による本サービスの利用が、次の事項に該当するかを確認する義務を負うものではありません。

1. 他の利用者のアカウントを不正に利用する行為、不正に当社の設備または他の利用者の保管電子データにアクセスしようとする行為。
2. コンピューターウイルス等有害なプログラムを使用または提供する行為。
3. 自己のログインID、パスワードを他者に使用させる、またはその目的でログインID、パスワードを公開する行為。
4. 虚偽の情報を用いてアカウントの利用申込みを行い、本サービスを利用する行為。
5. 他者の著作権、商標権等の知的財産権、肖像権、名誉や信用を毀損し、あるいはプライバシーを侵害する行為または他者に有形、無形の不利益、損害等を与える行為。
6. 公序良俗に反する行為または犯罪行為または犯罪行為に結びつき、もしくは犯罪を助長する行為。
7. 猥褻、児童ポルノまたは児童虐待に相当する画像、文書等を送信もしくは表示する行為、またこれらを収録した媒体を販売する行為、その送信、表示、販売を想起させる広告等を表示する行為。
8. その他法令に違反する行為またはその他当社が不適切と判断する行為。

第3条 アカウントに関する利用者の責任

利用者は、ログインID及びパスワードを自らの責任において管理・使用するものとし、一切の責任を負うものとします。利用者は、ログインID及びパスワードを第三者に貸与、譲渡を行うことはできないものとし、第三者に使用されたことにより生じた損害等について、いかなる責任も負わないものとします。利用者は、次の各号に該当する事由が発生した場合には、速やかに当社に連絡し、当社の指示に従うものとします。

1. ログインIDとして届け出ていた電子メールアドレスが使用できなくなった場合。
2. ログインID、パスワードを失念した場合。
3. ログインID、パスワードを第三者に利用され、もしくはその恐れがある場合。
4. その他登録事項に変更が生じた場合。

利用者の行為が原因で生じたクレームなどに関連して当社に費用が発生した場合または当社が賠償金などの支払を行った場合、利用者は当社が支払った費用や賠償金など(当社が支払った弁護士費用を含みます)を負担するものとします。

第4条 請求およびお支払

利用者と株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ(以下、「ドコモ」という)との間でビジネスプラス契約が成立した時点で、同時に、本契約が利用者と当社との間で成立するものとします。

1. 「ビジネスプラス」とは、ドコモの提供するサービスで、本件サービスその他ドコモの指定するサービスに係るライセンスを付与する内容のものをいいます。
2. 本件サービスは、ビジネスプラス内の1サービスとして提供されます。
3. 利用者は、ドコモに対してビジネスプラスに係る利用料金を支払うことにより、当社に対して利用料金の支払を行うことなく、本件サービスを利用することができます。
4. ビジネスプラスの利用料金は、ドコモが定める「ビジネスプラス利用規約」に基づき請求されます。

第5条 電子データに関する扱い

利用者が当社の管理するサーバに保存している電子データについて、当社でのバックアップの有無にかかわらず、利用者ご自身においてもバックアップを行っていただくものとします。なお、本サービスの保守や改良などの必要が生じた場合には、当社は利用者が当社の管理するサーバに保存している電子データを、本サービスの保守や改良などに必要な範囲で複製等することができるものとします。

電子掲示板など、不特定または多数の利用者がアクセスできるサービスに対して利用者が投稿などをしたコンテンツについては、利用者または当該コンテンツの著作権者に著作権が帰属します。当該コンテンツについて、利用者は当社に対して、日本の国内外で無償かつ非独占的に利用(複製、上映、公衆送信、展示、頒布、譲渡、貸与、翻訳、翻案、出版を含みます)する権利を期限の定めなく許諾(サブライセンス権を含みます)したものとみなします。

なお、利用者は著作者人格権を行使しないものとします。

当社は、利用者の許可を得ることなく、電子データの閲覧及び第三者への開示を一切行わないものとします。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、その目的の範囲内で、電子データを閲覧し、またはこれを第三者に開示できるものとします。

1. 第三者の生命、健康、財産等の重大な利益を保護するために必要であると当社が判断した場合。
2. 法令に基づく開示命令があった場合。
3. 当社保管電子データが、本規約第2条に定める利用資格に反した行為、またはその恐れがあると当社が判断した場合。
4. 当社保管電子データの種類(ファイル形式等)、アクセス状況、付加情報、容量・個数等の統計的な情報を、個人を特定しない形で取得し、当社および当社の提携先が開発するソフトウェアの改善や向上のために用いる場合。

第6条 個人情報について

アカウントを登録する際に、メールアドレス、生年月日、金融機関情報などの様々な個人情報を登録していただくこととなります。当社が取得した個人情報は、本サービスまたは当社を経由してご利用いただくサービスを提供するために必要なものに限られています。当社は当社が取得した個人情報を次の事項で利用します。

1. 利用者にご自分の登録情報の閲覧や修正、本サービスのご利用状況の閲覧を行っていただくための場合。
2. 利用者にお知らせや連絡をするためにメールアドレスを利用する場合。
3. 利用者の本人確認を行うために、個人情報などを利用する場合。
4. 本規約に違反した方や、不正・不当な目的で本サービスを利用しようとする方のご利用をお断りするための場合。
5. 利用者からのお問い合わせに対応するための場合。

また、個人情報について次の事項に同意が必要になります。

1. 情報公開者、投稿者などを利用者同士が識別できるように、識別できる名称やニックネームなどを、本サービスを閲覧している人に表示すること。
2. 利用者が本サービスや商品の申込みをしようとする際に、申込みに必要な情報を当社が指定する当該提携先に開示すること。
3. 本規約に違反した方や、不正・不当な目的で本サービスを利用しようとする方のご利用をお断りするため、個人を特定するための情報を提携先等に開示すること。
4. 提携先のサービスなど、当社以外の会社が提供するサービスに関するお問い合わせを当社が受けた場合で当該提携先に開示すること。
5. 裁判所から、法令に基づく開示を命じる判決もしくは命令を受けた場合、または警察などの公的機関から、捜査権限を定める法令に基づき正式な照会を受けた場合。
6. 人の生命、身体および財産などに対する差し迫った危険があり、緊急の必要性がある場合であって、本人の同意を得ることが困難な場合。
7. その他、個人情報保護法上許容される場合。

第7条 サービスの利用停止、電子データなどの削除

当社は、本サービスを適正に運営するために、以下の場合にはあらかじめ通知することなく、電子データやコンテンツを削除したり、本サービスの全部または一部の利用をお断りしたり、利用者のアカウントを削除したりするといった措置を講じることができるものとします。

利用者が以下の各号のいずれかに該当していると当社が判断する場合、アカウントを承諾しない場合があります。

1. 利用者の申込みの内容に虚偽の記載、記入漏れ、誤記があった場合。
2. 申込者が、過去に当社によってサービスの利用を停止され、または解約された者である場合。
3. 利用者が破産もしくは民事再生の手続の申立てを受け、または利用者自らがそれらの申立てを行うなど、利用者の信用不安が発生したと当社が判断した場合。
4. アカウントが反社会的勢力またはその構成員や関係者によって登録または使用された場合、もしくはそのおそれがあると当社が判断した場合。
5. その他当社が利用者として不適切と判断した場合。

第8条 ソフトウェアに関する順守事項

当社が開発するソフトウェア(以下本ソフトウェア)の知的所有権は、当社または当社の提携先に帰属します。

本ソフトウェアは、完全性、確実性、動作必要条件を満たす場合でも、利用者の使用環境において動作することを一切保証しておりません。また、予告なく本ソフトウェアの仕様を変更するものとし、本ソフトウェアを利用したことによっていかなる損害が発生した場合や、仕様の公開提供、利用者の許諾プログラムに関する技術保守、機能改善等のいかなる技術的提供の義務などを当社は負うことはできないものとします。

本ソフトウェアの利用にあたり次の事項は禁止とします。

1. リバースエンジニアリング、逆アセンブルを行うこと、またその他の方法でソースコードを解読すること。
2. 人の生命・身体または財産に重大な危険をおよぼすおそれのある設備などを制御するためなどに本ソフトウェアを利用したり、当社が定める指示などを順守しない用法で本ソフトウェアを利用すること。
3. 対価を受ける目的で本ソフトウェアまたは開発するソフトウェアを自ら利用し、または第三者に利用させたり、当社が指定する方法による事前の承諾を得ることなく、本ソフトウェアを販売、再配布、賃貸、使用許諾すること。
4. その他当社が不適切と判断した場合。

当社が提供するAPIをご利用になる場合、以下の特約事項が適用されます。

1. API利用者は、当社が提供するAPIを使用してソフトウェアを開発する場合には、「クレジット表示ガイドライン」と「クレジット配置ルール」を順守しなければなりません。
2. API利用者の開発するソフトウェアに、当社が定める開発ソフトウェアを特定するためのアプリケーションID等を付さなければなりません。アプリケーションID等の情報は、API利用者が開発した開発ソフトウェアの使用に際し当社に送信されることとなります。

第9条 免責事項

当社の責に帰すべき事由により利用者に損害が発生した場合の損害賠償の範囲は、当該利用者が直接かつ現実に被った通常範囲の損害とし、賠償額の上限は、当該利用者が損害を被る原因となった本サービスの利用に関して当該利用者が当社に支払った金額を上限として損害賠償責任を負うものとします。

第10条(準拠法及び管轄裁判所)

本規約の成立、効力発生、解釈にあたっては日本法を準拠法とします。また、本規約の適用、解釈及びサービスの利用に関わる全ての紛争は、東京地方裁判所または東京簡易裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

2013年9月2日 以上

■ プライバシーポリシー

平成18年7月1日 制定
平成18年12月11日 改定

当社は、個人情報保護の重要性を認識し、個人情報の利用にあたっては適切な取扱いを心がけ、お客様、及び従業員のプライバシーを侵害することのないように努めます。

また、個人情報保護に関する法令などを遵守するために、社内規程の「株式会社ジョルテ個人情報保護コンプライアンス・プログラム」を制定し、全社でこれを実行してまいります。

お客様、及び 従業員の個人情報を保護するために、当社では次のことを守ります。

1. お客様、及び 従業員の個人情報を保護するために、関連する法令その他の規範を遵守いたします。
2. 「個人情報保護コンプライアンス・プログラム」を自主的に制定し、それを遵守し、継続的な改善を行います。
3. お客様、及び 従業員からご提供頂いた個人情報の漏えい・紛失・破壊・改ざん、及び 個人情報への不正アクセスなどを防止、及び 是正するために、適切な安全管理措置を講じます。
4. 社員に対する個人情報保護の教育を実施するほか、個人情報保護管理者を置き、個人情報の適切な管理に努めます。
5. 個人情報の提供をお願いする場合は、お客様、及び 従業員にその利用目的をお知らせして、必ず同意を得た上で行います。
6. お客様、及び 従業員からご提供頂いた個人情報は、同意頂いた利用目的の範囲内でのみ利用し、他の目的にお客様、及び 従業員の同意なしに利用・提供することはありません。
7. 個人情報に関する問合せに対応するため、下記の通り窓口を設けております。お客様、及び従業員からご提供頂いた個人情報の開示・訂正などを求められた場合は、ご本人であることを確認の上これに応じます。